

## V 意見・記述、その他の集計結果

### 1 地域活動についての記述

#### (1) 地域での活動について感じていること 【問3 (5) より】

##### ① 活動から得たこと

20代	女性	地域の仲が深まってよいと思う。
20代	女性	色々な行事が行われていて楽しく交流することができる。
20代	女性	リーダーが素晴らしい人なので、活気があると思う。
20代	男性	二年に一度、地元で各町内が屋台を出して、お祭りを行うことが町の活性化になっているように感じる。
20代	男性	地域の方とスポーツを通じて関わることによって、以前より地域に愛着を感じる。
20代	女性	活動するまでは不安なことが多いけど、参加してみると人が温かくて学びがたくさんある。
20代	女性	高齢者の方々が元気で明るい。
20代	女性	地域の人と人をつなぐ機会だと思う。
20代	女性	とても活気があっている。
20代	男性	楽しいから参加している。
20代	男性	地域内での交流に参加することで、価値感、考え方を共有し、また新たな視点で、地域に接する(関わる)ことができた。
20代	女性	以前は地域の行事などに参加していたが、今は参加していないので、参加してみるのもいいと感じている。
30代	女性	地元ではお祭りが多く毎回楽しく参加している。
40代	女性	主に育成会を中心とした活動に参加しているが市民運動会やどんど焼きなど自治会と共同の行事への参加などもあり、地域の幅広い年齢層の方と交流することで勉強になることも多い。負担を感じることもるが、地域を盛り上げるためにも大切だと思う。
40代	女性	とても思いやりがある。
50代	女性	地域の方々とのつながりは、大切だと思う。
50代	男性	新たに引っ越してきたものなので活動を通してより親しくなれたような気がする。
60代	男性	決心するまでに時間がかかるが、参加すると楽しい。
60代	女性	地域で行われるそうじ、お祭り、自治会役員を通しての活動で、大変だと思うこともあるが、大切なことと思う。
60代	女性	自治会に参加し、地域の交流を深めている。
60代	女性	市の高齢者相談員をやっているが、人と人とのつながりがとても大切だと思っている。また、活動することで大勢の方と知り合いになることができ感謝している。
70代	女性	人とのつながりが深まった。
70代	男性	積極的に色々な活動に参加している人が多く刺激を受ける。
70代	女性	公民館を通しての参加は自主的に前向きの方が多く共感することも多く、つながりも大きく、達成感もあり楽しい。

##### ② 地域活動の課題等

##### ア 負担感

20代	女性	人とのつながりは大変。
20代	女性	祭り等が多くて子どもがいるので面倒くさい。
20代	女性	役職に就くと大変そうである。
30代	女性	都合が悪いことをやらないといけなかつたりするので面倒くさい。
30代	男性	休日も仕事のためなかなか地域活動をする時間余裕がない。

40代	男性	面倒な時もある。
40代	女性	業務にされると負担。
40代	女性	年代別で対応に気遣いをするのが苦痛に感じる事がある。
40代	男性	活動が土日。土日は仕事なので参加できない。
50代	女性	2か月に1回くらいの割合で、飲み会があり大変。女性は用意や片づけをするので負担。年に2回くらいならいいのだが。
50代	女性	地域の行事、風習、決まり事は景色としては美しいものですが、その中に入ると不合理なことが多く、その拘束力に驚かされる。
60代	男性	いろいろな活動があり、参加したいと思っているが、時間（時刻）のこともあり難しい面もある。

イ 交流が少ない・参加者が固定化 等

20代	男性	希薄。
20代	男性	昔より薄れてきたと感じる。
20代	女性	全く交流がない。
20代	女性	人との関わりがほとんどない。
20代	女性	地域での活動自体があまりない。参加するとしたら父や祖母。
20代	女性	活動が（回数・内容ともに）あまり活発でないと思う。
20代	女性	盛り上がりや衰えてきているものがあるように感じる。
20代	女性	年に何度か行事はあるが、参加人数が年々減ってきているような気がする。
20代	女性	活動自体が少なくなったと思う。
20代	男性	学生と地域が集まる機会少ない。
20代	女性	地域で活動している行事等の数は多く、活発だが、決まった人しか参加しておらず、なかなか参加しにくい。
20代	女性	参加率が高い地域もあれば、低い地域もあり、地域によって活動に対する意欲の格差があるように感じる。また参加する人も特定されてきてしまっていると感じる。
20代	男性	町会などは老人が多く、入りにくい。また政治・宗教的な活動はあまり好ましくない。
30代	女性	昔から住んでいる方達に入り込めない雰囲気がある。
30代	女性	参加する人、しない人がいつも一緒。
30代	女性	参加する方の顔ぶれがいつも同じに思うことがある。
30代	女性	あまり若い人の参加が少ない。
40代	女性	参加したいがきっかけがない。
40代	女性	子どもが義務教育終了とともに参加が少なくなる。
40代	女性	子育てが終わると活動が少なくなる。
40代	女性	マンションに住んでいる人たちは子ども会育成会に入らないが、登校班は利用するので、なかなかその子や親と交流することができない。
40代	男性	自分+家族に関わる活動については地域で関わるが、その他の活動に関してはきっかけがないと関われない。
40代	女性	活動に関心を有する人が減少しているのではないかと
40代	女性	地域での活動はその家の年長者や世帯主が出ることが多いので、同年代や同性の人との交流がない。新しい人が地域の活動に関心がないことがさびしく感じる。
40代	女性	地域全体での行事に参加する人が少なくなり、それにともない中止になることが多い。
40代	男性	子どもを中心とした行事への参加人数が少ない
40代	女性	出席する人はいつも同じ人。役員は何年も変わらない。
40代	女性	年々集まりに出てこない人が増え、いつも同じメンバーでの活動となっている。義務を果たさず、権利を主張してくる人が多く、やりづらい…。

40代	女性	参加する顔ぶれが、いつも同じ。特に役員等々は、引き受ける方とそうでない方と差がある。
40代	男性	お年寄りの方が増えてきて、活動に参加することができないことが見受けられる。
40代	男性	自治意識の強いエリアであり、その中でも派閥的なものがあり、よいときは非常にまとまるが、もめたときは根に持つ傾向が強く、やり方や付き合い方に非常に気を使わなければいけない（他の地域に比べて）。
40代	女性	子どもよりもお年寄りが増えてきて、地域の役割も変わってきているのがよく分かります。心にゆとりがなくなるような気がしている。
40代	男性	参加する人はいつも決まっている。どうしたら新しい人に参加してもらえるかが課題。
50代	女性	順回りでその分担や役目があるときに参加することが主で、日常的にはあまり関わりをもてていないと感じる。自分だけではなく、周囲の人たちも同様であると感じる。
50代	男性	子供が中学を卒業した頃から地域との交流が少なくなった。
50代	女性	子どもたちが小中学校を修了してしまうと地域の人とのふれあいがぐっと減ってしまい、さびしい。
50代	女性	地域社会との交流も重要であるのは分かっているが、なかなか中に入ることができない状態である。
50代	女性	子どもが大きくなると少なくなる。
50代	女性	若い人の参加を望む。
50代	女性	同じ人が、いろいろなところで活動しているが、なかなか後が続かない。
60代	女性	体育祭や神社の祭り等若い人が足りず、強制的に出なくてはいけないことに。これから先が心配。
60代	男性	参加者が少ない。
60代	女性	回覧板等での広報があるが、あまり知られていないこともあまり活発化しない一因と思います。昔のような地域のつながりが薄くなっている。
60代	女性	参加しない人はすべてに参加しないので、共通認識をもつのが難しいし、決まり事等徹底できない。
60代	女性	同年代での活動はありますが、若い世代との交流が少ない。
60代	男性	活動、交流の場が少ない。
60代	男性	年配者が多くなり、子どもの数が減っていることが心配。
60代	男性	子どもが少ないと思う。
60代	男性	古い住民が数名くらいで固めて若い人が入りづらい環境。
60代	女性	同じ人が長年役員をしているので若い人が入りにくい。
60代	男性	地域の古くからいる人ととけこみにくいところがある。
70代	男性	夫婦で勤めており班内はほとんど不在。女性たちはよく話もするが、ご主人はあいさつもしない人がおり、行事にも参加しない人が多く、交流が少ない。班の引継ぎも女性たちで毎年行っており、今年から時間が取れるようになったので、変えていきたい。
70代	女性	地域が農業主体の区域のためか、地元の人中心で年齢も高齢化している上、若い人は勤めとかに行っているため、行事にほとんど参加しない。今後の活動に不安を感じる。（転入者にとっては少々窮屈なところがある）
70代	男性	高齢者、特に男性の参加が少ない。
70代	男性	顔ぶれがだいたい同じである。
70代	男性	祭りでもボランティアでも同じ様な人が多い。
70代	男性	新しい役員不足で困難している。

ウ 情報提供の不足 等

30代	女性	外国人の方が地域の活動に参加していない。参加する方法を知らないと思う。
30代	女性	どこでどんな活動をしているか正直よくわからない。
30代	女性	広報に力が入っていないのか、やっていることを知らない。ふと寄った時に何しているのだろうと知ることが多い。

40代	男性	問3c (ボランティア・NPO・市民活動) の情報が入ってこない
50代	女性	何の活動があるのかわからない。広めてくれたら参加できることがあると思う。
60代	女性	温度の差を感じることもあり、一生懸命な人と冷めている人をどのように活動に参加してもらうことが今の課題。
60代	男性	活動する方法が見つからない。
70代	女性	声掛けがあれば出席したいが、それがほとんどないことが多い。

エ その他

20代	女性	ごみ拾いと言っているのにごみを拾っていないのはいただけないと思う。
20代	男性	一人一人の価値観が違う。
30代	男性	最近住宅団地ができて治安が悪くなった。
40代	男性	活動については一般的に理解しているが、共存という意識は薄れてきていると思う。個人を主張しているだけの人が増えているのではないのでしょうか。ただこれは少子化、共働きという世の中の流れなのだと思う。
40代	女性	時代にあったことに変更してほしい
50代	女性	考え方色々あるが、個人の都合のよく考える方が多くなっている。
60代	男性	酒飲む席が年に数回(花見、忘年会等)あり、時間は長い、けんかになるなどひどい地区もままある。
60代	男性	新たなものがない。(毎年同じ企画)
60代	男性	フラットにできる場が少ない。
60代	男性	若い人たちにいかに理解していただくかの難しさ。
60代	女性	いつも参加しない人がいるが出てくださいと言いつらい。
60代	男性	以前のように地域や地元へ愛着を求めたり感じたりしている人の減少を感じる。自分勝手というか無神経というかそんな人の増加。
70代	男性	若い世帯の人々は地域へ愛着などを感じていないように見受けられる。また、高齢者は愛着を感じているが身体が弱まり活動に参加できない状態である。
70代	男性	男性のプライドの良し悪しが多く聞こえてくる。
70代	男性	農村部であることから地区内に若者が少ない。
無	無	引越して来た方をよそ者として避けること。

③ 意見・提案・改善策 等

20代	男性	老若男女を問わず、参加できる活動をしたい。 Ex.かるた大会 etc...
20代	女性	もっと地域間の交流があればよいと思う。
20代	女性	子どもが少なく過疎化しているので地域での活動も少なく、周囲は年齢が合う人がいないので地元へ若い人たちが戻ってくるような何かメリットを作れるとよいと思う。
50代	女性	夜の活動を増やしてほしい。仕事をもっていると参加できない時がある。
50代	男性	定年を迎えた場合の交流の場として、人とのつながりを深めておきたい。
50代	男性	それぞれの人の得意分野を引き出して、活動の幅を広くする。
60代	男性	ボランティア活動は自分のペースで行うことができるので気分的にリラックスできる。ノルマがないのはよいことだと思う。
60代	男性	回覧板などで活動内容は周知されているようであるが、あまり関心はなかったのを見ていなかった。今後はよく確認するようにしたい。
60代	男性	地域外から移転してきて8年になるが、いまだに「よそ者」あつかい。地域でのイベント、運動会、敬老会などは古くからの人々のみで行われ、興味がわからない。→自治会活動では会費を取られるのみ→もっとオープンで魅力ある活動をしてほしい。
60代	男性	自治会では、役員の活動(働きかけ)によって、差がありすぎる。市役所中心の運営なら、もっと役員に働きかけてほしい。

60代	女性	気軽にたくさんの人、特に一人暮らしや高齢者世帯の人が参加できるような工夫があるといい。
60代	女性	ほとんどの人が地域活動に関心があり、できれば参画したいと考えているようである。参画のきっかけをつくる仕掛けを進める人材が必要。
60代	男性	各自がもっと責任をもってほしい。
60代	女性	ボランティア等で貢献した分をポイントにして、介護が必要になったときにお世話になれたらよいと思う。
60代	男性	参加の機会を失った頃があり、今後できる限り参加するよう心がけていきたい。
60代	女性	60代後半なのでその年代の方たちと気軽に交流できるといいなと思っています。また、少し時間ができたら行きたい。
60代	男性	「仕事やその他の活動が忙しいので、地域の活動に参加できない」という人が多いが、活動の時間はやる気があれば生み出せるものであって、やる気がない人の言い訳だと思う。
60代	女性	隣近所の交流が薄れているので行事等をつけていってほしい。皆で一緒に成し遂げることは大事だと思う。
60代	女性	年齢が高齢化しているので若い方もどんどん参加できるように地域・市・県で考えてほしい。
60代	男性	コミュニケーション。行事への積極的参加。
60代	女性	もっと大勢の人が参加しやすい事業があればよいと思う。
60代	男性	他地域より引っ越ししてきたので、知人がなく積極的に参加をし地域にとけこむようにしている。
70代	女性	老人会を活発に。
70代	男性	新興住宅地なので、自治会単位の行事だけではなく、町全体でやる町民大運動会を復活してほしい。
70代	女性	小さくてもよいので交流があるとよい。
70代	女性	一歩踏み出せば顔なじみができる。一人でも思いきって参加することの大切であると思う。
70代	女性	もっと多くの人が参加してくれるとよいと思う。

④ その他

20代	男性	引っ越したばかりで分からない。
40代	男性	先輩が高齢化しており、業務をいつかは引き継がなければならないが、今すぐと言われると仕事の関係で厳しい。退職後ならばOKなのだが。
60代	男性	リーダーや役員不足及び役割の大変さに頭が下がる。
60代	女性	参加したいが勤務や介護のため出席できないので申し訳なく思う。
60代	女性	知らない方何人か道路等のゴミ拾い等のみかける。グループになっているらしく、同じジャンパーを着ていた。スバラシイ事!!

(2) よりよい地域をつくるために必要だと思うこと 【問5 (7) より】

① 付き合い・交流の機会等

20代	女性	昔からの人たちとの関わりをつくっていくこと。
20代	女性	地域の事業を増やして若い人も出やすい事業をつくる。
20代	女性	地域住民とのコミュニケーションを密にする。
20代	女性	たくさんコミュニケーションをとること。
20代	女性	近所の人との交流をする場をつくる。行事やお祭りなど。
20代	女性	交流を深める。
20代	男性	隣りにだれが住んでいるのか分かる程度の付き合い。
20代	女性	人との関わりを深める活動をする。
20代	男性	みんなで何かやるような行事をつくる。
20代	女性	普段から交流（挨拶）を。
20代	男性	積極的にボランティア活動等に参加し、多くの人たちと交流をもつこと。
20代	男性	やはり、イベントを多くするのがよいと思う。
20代	男性	地域で交流会を開く。
20代	女性	子どものためには地域の交流は必要だと思うが、干渉しすぎるのもトラブルになるものと思う。
20代	男性	挨拶をしっかりする。
20代	女性	魅力的な行事を実施。宣伝。
20代	女性	もう少しイベント等を増やし、地域全体で活動し、いろんな人と交流できることが必要だと思う。
20代	男性	定期的な集まり（スポーツ大会や季節ごとのイベントなど）が大切だと思う。地域の方が密接に関わり合うことが大切だと思う。
20代	女性	人と人との関わり
20代	女性	毎日のあいさつ。鍋パーティーを一緒にやる。
20代	女性	地域ごとでのイベントなど、地域の人が交流できる時間をもっとつくるべきだと思う。そして、年にどんな行事が行われているのかを地域の人に知ってもらう事が大切だと思う。知らない人が多いと思う。あと、参加しやすい環境をつくる事も大切だと思う。
20代	女性	挨拶をして思いやりをもつ。
20代	女性	現在少子・高齢化のため、高齢者の1人住まいも少なくないと思う。また、子どもは祖父母と一緒に住まれていることが多いと思う。地域で子どもと高齢者のふれあいの場を設けるだけで、見方も変わってくるのではないかな。
20代	女性	挨拶をする。噂話はしない。
20代	女性	地域住民が参加できるボランティアの機会を増やす。地域住民が交流できるイベントを考える。
20代	女性	地域の関わりを増やす。挨拶程度でいいから、まずそこから始める。
20代	女性	コミュニケーション（挨拶）
20代	女性	地域内での交流の場を設ける。持続するように「若い力」を大いに発揮できるものを取り入れる。
20代	女性	自分が住む地域について知り、愛着をもつこと。世代を問わず、地域の人々との交流の機会（イベントなど）を増やすこと。
20代	女性	地域でのまとまりが必要だと思う。
20代	女性	日常の挨拶。
20代	女性	地域住人のコミュニケーションを密に取ること。
20代	女性	近場でレクリエーション活動を開催するなどして、コミュニケーションの場を広める。
20代	女性	行事をもっと増やして、地域の人々との交流の場を増やしていくこと。

20代	女性	地域の人々が交流できるようなイベントや集会を定期的に行い、地域の人々がお互いに交流し合い、地域の中で意欲の格差が生じないように配慮する必要があると思う。あまりかしこまったような集まりではなく、年配の方も若者も気軽に交流できるような場がつけられるとよいと思う。
20代	男性	地域での交流の機会の充実が必要だと思う。
20代	女性	地域内でどのような取組をしているかなど積極的に把握し、参加していくこと。
20代	男性	風通しのよい地域、人間関係づくり。
20代	女性	地域の人たち同士が交流する場所や機会が必要。
20代	女性	まずは顔見知りになることが大切だと思う。 地域によっては若い世代の家族が家建て、地域の年齢層に差がある場合もあるため。
20代	男性	ボランティア活動（ゴミ拾い等）。
20代	男性	まだわからないが、まとまることが一番大切だと思う。
20代	女性	交流できる場、機会。
20代	女性	同じアパートの人たちとの交流。
20代	女性	地域行事等をさかんにする。
20代	男性	近所の人との挨拶など、ちょっとした声かけ。
20代	男性	定期的な集まり。
20代	男性	気軽に集れる場所があればいい。
20代	男性	全員参加型のイベントなど。
20代	男性	人が楽しみながら自然と集まれる場をつくること。 他人まかせにしないこと。
20代	男性	地域のつながり多方向での連携、交流。
20代	女性	地域の人たちとの交流とお互いに協力し合うことはとても必要だと思う。
30代	女性	人がつながること。積極的に参加したいと思えるイベント。口コミで広げてつなげる人。回覧板の効力はほぼない。おせっかいおばちゃん、おじちゃん。「イオン」に行くより魅力的なもの（暇だとみんなイオンに行く）。暇があったら集まれる場所。
30代	女性	昔から住んでいる人たちが新しく仲間になった方々を受入れ、住みよい空気、空間作りをすることだと思う。
30代	女性	地域の行事に進んで参加すること。いろんな人と会話すること。
30代	女性	日常的なつながり（コミュニケーションなど）を大切にすること。
30代	女性	積極的に声かけ（挨拶等）。
30代	女性	異年齢間の交流を増やす。
30代	女性	町のイベントを小さなことでもよいので発信してほしい。やっても町民が分からないと意味がない。サークル等、仕事帰りでも参加できる夜できるものがたくさんあるとよい。
30代	男性	地域の人を知ること、関心をもつこと、声をかけること、会話をする事とだと思ふ。
40代	女性	地域の人と関わりをもつ。
40代	男性	家族が気軽に参加し、体験などのイベントから家族・地域で共有できるものがもっとあった方がよいと思う。趣味などを生かして交流することが一番早い。
40代	女性	強制的に集まらせるような会合ではなく、自ら行きたいと思うような魅力ある地域活動を期待する。
40代	女性	自治会町内会等で交流つながりをもてる場をつくる。積極的に参加したいと思えるイベント。
40代	女性	地域の行事に参加するなど人とのふれあい。
40代	男性	何気ない会話。
40代	女性	面倒なことも交流の1つであると思う。意見の違う人がたくさん集まって、よりよい地域にしていくの

		だという意識をもって、誇りをもってほしい。
40代	女性	地域におみこし等のお祭りがあるといいと思う。新しい振興地なのでない。親も一緒に楽しめるお祭りがいいと思う。
40代	男性	より積極的な社会参画の意識。
40代	男性	地域交流に消極的な人がいると思うが、消極的な人が抵抗なく地域行事などに参加できるようコーディネートする人がいるとよいのでは。
40代	女性	今、住んでいる地域は過疎化が激しく、ほとんど高齢者の家になってきている。若い人が地元に戻ってきたくるような魅力ある地域づくり、人と人とのつながりの強化が必要だと思う。
40代	女性	昔からの行事を大切に、新しい事にも耳を傾ける。人とふれ合う事を積極的にして、安心安全な地域づくりをする。
40代	女性	コミュニケーション。
40代	男性	会話。心の余裕。金銭の余裕。時間の余裕。
40代	女性	地域活動の参加（子どもも一緒に）。
40代	男性	古株（長老）方の意見も大事だが、もっと若い人たち（20～40代）も運営・参加していってもらいたい。伝統行事が多い地域でもあるので。
40代	女性	地域で行われるお祭りや行事に参加すること。
40代	男性	地域の活動に積極的に参加すること。
40代	男性	あいさつができる関係づくり。
40代	男性	地域のまとまり。
50代	男性	今の時間で許される範囲で地域行事に参加する。
50代	男性	全員参加の地域会合やイベント、奉仕活動を通じて、地元の人との交流を深める必要があると思う。
50代	女性	活動を広め、全員等に分かるように人と人とのつながれるようなものをつくってほしいと思う。
50代	女性	人と人とのつながりが大切だと思う。自分自身が積極的に参加するように心がけていくことも必要だと思う。
50代	男性	挨拶はとても大切。
50代	男性	積極的な挨拶、声掛け等。
50代	女性	交流の場が減っているため、子どもを通しての知り合いはできるが、それ以外は機会がない。
50代	男性	各人が参加しやすい行事等を行い交流を深めること。
50代	女性	小学校区で、子ども達を中心に地域がまとまり、盛り上がったらいと思う。
50代	男性	大型商業施設の進出により急激な都市化が進んでアパートやマンションも建設され、そこに暮らす方々がどんな方なのか分からない。街行く人も顔を知らない人がほとんど。昔からの地域の方とは互いにあいさつや会話ができるが、新住民の方や商業施設への通勤の方との挨拶はない。どうしたらよいか分からず不安。
60代	男性	性格的なものもあるので、100%の人がいろいろな催し（例えば盆踊り、公民館体育祭 etc）に参加はできないと思うが、人間関係を円滑にするためには、是非、参加して互いの顔を覚えていただきたい。
60代	女性	出会ったら挨拶をし合う。
60代	男性	行事等の参加者が年々少なくなっている。参加しやすい行事を考えていかなければならないと思う。
60代	男性	いろいろな行事に参加し、コミュニケーションを図ること。
60代	女性	もう少し近所どうし仲良くできたらと思う。
60代	男性	ゆるやかなつながりがもてるような場があるといいと思うようになった。地域には様々な人がいて、合わせるの難しい。

60代	女性	お近くの方々と声をかけあって暮らしていけたらと思う。助け合っていけたらよいと…。
60代	男性	互いに理解し合うため、会う機会（交流）をもつこと。
60代	男性	町内会の班単位での交流から始める。回覧板等はポストに入れるよりも手渡しがいと思う。
60代	男性	参加すること
60代	女性	市や各地区ごとにもっとみんなで参加できる何かを立ち上げたいと思います。
60代	女性	コミュニケーションが大切なので、挨拶から始めたい。常に気遣いを忘れず、明るい地域づくりを目指したいです。
60代	女性	近所への声かけ
60代	女性	地域に気軽によれる場所
60代	女性	まずは町内から…1年に1回くらい新年会とかあるとよいか？立場を知る意味でも
60代	女性	社会の形態が変化して（1人暮らしの人が多、少子化等）地域での交流がむずかしくなってきたが、いっそう必要であると感じる。
60代	女性	町内を大切に交流を深めたいと思います。
60代	男性	つながり
60代	男性	できれば全員参加が必要だと思います。
60代	男性	近隣の人とのコミュニケーション。役所等の積極的活用。
60代	女性	コミュニケーションだと思います。現在住んでいる所は高齢化が進み、若者との世代交代が必要。自治会運営していく上でも具体的にはまだまだ。
60代	女性	高齢者と子どもたちのつながりが必要だと思います。
60代	女性	義務としてではなく常にコミュニケーションを取って信頼関係を築けるようにしたいと思います。
60代	女性	現在配偶者を3年前になくし、一人暮らしです。なるべくご近所の人とは仲良くしたいと思う。
60代	男性	役員だけのイベント・祭り等になりがちであり、全体に呼びかけが必要だと思います。
70代	男性	あいさつ運動の展開：あいさつは生活の基本だと思う。
70代	男性	よりよい地域をつくるためにはどんな場合にも参加すること
70代	女性	挨拶をする。地域内の商店を利用する。趣味のクラブに参加する。
70代	男性	地域での「集まり」に多くの人に参加し、語り合い、助け合うシステムが必要だが、「集まり」はどんなものがよいか、「楽しい集まり」とは何か、考えている。
70代	女性	みんなが気楽に集まれる場所が多くあればよいと思う。
70代	女性	参加しない方が多いので是非とも参加して欲しい。また、子ども育成会があっても子どもたちの参加がとて少なく困っている。
70代	女性	高齢者に一歩外に出るための企画
70代	女性	地域の公民館活動にみんなが参加できるといいと思います。
70代	女性	地域の人へ 地域でのイベントにもっと参加してほしいと思っている
70代	男性	みんなで声をかけあうことです
70代	男性	地域の交流もあるものの公民館に集まったりで、班ごとの清掃や行事が見られない。向いた方を向いている人が多い。前に住んでいた埴田東地区は交流が多く、楽しかった。
70代	女性	自治会の公民館を中心とした地域のつながりをつくるための事業。
70代	女性	高齢者と若い世代の交流。
70代	女性	情報をきちんと伝えること。また、回覧等は止めておかず、すぐに回すこと。（期日のすぎた回覧は困る）地域行事には積極的に参加する（協力すること）。
無	女性	子供に気がるに言葉掛ける空気。あいさつが飛びかう雰囲気。
無	男性	関わりを多くすること。

② 思いやり・協力

20代	女性	皆で協力して地域をつくる。
20代	男性	ともに思いやりをもって、日々に生かす。
20代	女性	助け合いや何かあった時に協力しようとする意志。
30代	女性	福祉に力を入れること。
30代	女性	それぞれの年代がそれぞれの役割を認識し、できることをしつつ、互いを助け合えるような関係があると、信頼の心も高まると思う。
30代	女性	独居老人の地域での声掛け。シングルマザーや貧困者へのサポート。社会で問題になっていることに目を向けてほしい。
30代	女性	高齢化が進んでいるので助け合いが必要だと思う。
30代	女性	町の協力。子どものために何をすべきか考えてほしい。学区外登校の問題を早くいい方向へ解決してほしい。
30代	男性	地域全体で子育て家庭を支える環境づくりが必要だと思う。
40代	女性	思いやりをもつこと。
40代	女性	・「人のために働く」ということはいつか自分に返ってくるということをきちんと学ぶ機会をつくっていく。 ・子どもたちを共に育てているという地域の思いを育てる場がほしい。
40代	男性	色々な状況で引越して来る人がいます。地域で何十年と住んでいる年配の方が、もっと若い人たちとウェルカムな気持ちで迎えてくれるとよいと思う。
40代	女性	お互いにお互いの生活に寄り添うような考え方をもって、あまり無理強いわせず生活していくことではないでしょうか。
40代	女性	地域の人に対して無関心になることなく、共存できる方法を見つけることが必要。家の近所に独居老人の方がいます。
40代	女性	自分がよかれと思って人に勧めたり、意見を押し通そうとしたりしても、地域のためにはよくなると思うので、お互いの立場を理解しあって、意見を出し合った方がよいと思う。
40代	男性	相互の思いやり。
40代	女性	地域に協力的になる。
50代	女性	何でも協力し合うこと。
50代	女性	育成会・自治会の活動により、多くの方が参加できるような環境づくり。新しい方が入ったときに入りやすい状況にする努力。オープンな会の運営。
50代	女性	相手を想う気持ち。
60代	女性	やさしい見守り。
60代	女性	思いやりの心をもつことが大切だと思う。
60代	男性	他人の立場環境等をよく理解すること。
60代	男性	地域の団結力。
60代	女性	連帯感、他人の悪口を言わない、他の人のよいところを認める。
60代	女性	できる範囲での助け合い。
60代	女性	お互いに信頼し合う助け合う精神をもつこと。

③ 自覚・責任

20代	女性	1人1人がきちんと自覚すること。
20代	女性	地域のルールを1人1人が守る。
50代	女性	時代と共に人間関係が変化し、生きづらくなってきた。地域の前に人間育成（健全な精神）本当の教育、自分で考えて創造し生きる力を身に付ける。1人1人の人間力が地域の活性化になると思う。

60代	男性	地域のことについて人頼みや人任せにせず、できることは積極的に自分で行うなど、地域に参加する。
70代	女性	自分で出来ることは、積極的に参加することが大切。
70代	男性	住民1人1人の自覚。我がふるさとをよくしていこうとする心がけ。
60代	男性	地域内で各人の責任意識をもつこと。

④ 環境等の整備等

20代	男性	みどりを増やす
30代	男性	我地区には公園がないため、子どもからお年寄りまで、散歩や遊びなど多目的広場的なものがほしいと思っている。年齢を問わず交流できる機会にもなる。
40代	男性	カラス対策→電線等の改善等。
50代	女性	工業団地ができるとういと思う。・労働力が地元で確保できる仕事があればよいと思う（他の市町へ行かずにすむ）。
60代	女性	行政サービスを一定基準満たした上での協働意識。この最低ラインのサービスを保障しなければ町民はついてこないと思う。
60代	女性	地域から出た議員さんの助けを借りて、1つずつクリアすることが大切である。
60代	男性	企業誘致→若者の働く場の創造→地域平均年齢の若年化・IT企業など都心でなくても可能な企業に働きかけ。
60代	男性	地域の人々のつながりが深まるような手立てを地域（自治会・行政）などが率先して行っていくとういと思う。特に得々としている人も地域にいるので生かしていくとういと思う。行政と地域の協力があるとよいのではないかな。
60代	男性	地域の活動に重複したものがある。統一はできないか、特に補助について感じる。NPO等の活動内容を調べる方法がわからない。
60代	女性	・安心・安全な環境づくり。 ・スムーズにコミュニケーションが取れる体制づくり。 ・色々な情報を分かりやすく個々の家庭に届ける（プライバシーに配慮しつつ）。
60代	男性	交通の便がよくないと住み続けられない。
70代	男性	地区内で高齢化が著しい現状から見て、行政は従来以上に積極的な関わりをすべき。現状に任せていると活動は低下していくのは確実。
70代	男性	高齢化が進んでいるので、医療・福祉・商業地の充実を進めてもらいたい。
70代	女性	住んでよかったと思うような行政側の施策。

⑤ リーダーの育成 等

70代	男性	組織をうまく生かせるリーダーの育成。行政の資金面の協力。
70代	女性	まとめ役をできる人が必要。
60代	男性	県及び市町村が積極的に参加し、地域づくりのリーダーシップを発揮してほしい。
60代	女性	地域の人たちが様々な行事や活動、ボランティア（掃除等）に気軽に参加できるように率先して先に立ってリード(?)できる人をたくさん養成する(育てる)。もしくは募る。参加できる各種の行事や遊びなどを考え出す。

⑥ 若者と共に

60代	男性	若い人たちの考えを取り入れた各種施策（いかに関心をもたせるか）。現実問題として自治会・育成会を主にやらざるを得ない。各種スポーツ大会は自治会連合会でやるから野球やゴルフと言った種目をムダにやっている。アンケートを取り、必要最小限のレクをやる等、根本的に変える必要がある。
70代	女性	若い世代が地域に新築し、入ってきているので、若者も一緒に活動できたらよいと思います。

20代	男性	若者も参加できるよう現代技術（インターネットなど）を積極的に利用するべき。現在若者の地域参加が少なくなっていることを問題にしているが、我々が参加できるような環境はないし、明らかに除外しようとしているか理解がない。
60代	男性	子ども達、若い人が住みやすい町づくり。

⑦ その他

20代	女性	もっとお店を増やした方がいいと思う。
20代	女性	私にはよく分からない。
20代	女性	交通マナーがホントにひどいと思うので改善が必要だと思います。
20代	女性	学校と地域の連携。
40代	男性	地域のコミュニティにおいてある程度自由に意見が言える環境が必要ではないかと思います。
50代	男性	時間的な余裕・若者の定住、並びに行事への参加・居住者の高齢化により行事の実施も徐々に困難になってきている。
50代	男性	広く意見を聴いて集める。
50代	男性	新しく来られた方々を取り込む方策。
60代	男性	核家族化を改善し、家族のつながりの大切さを広めたら…。地域の子どもはみんなで育てる環境や環境づくり。
60代	男性	安心安全が第一である。
60代	男性	奉仕の精神。
60代	男性	子供達に文化や歴史を伝えること。
60代	男性	高齢者向けのセミナーを企画してほしい。
60代	女性	民生委員の活動が見えにくいので、これから一人暮らし、二人暮らしの方が増えてくるので心配。
70代	男性	町自体の活性化の必要と思われるが全住民の65%以上が60歳以上となり超高齢化が進んでいるので、町内行事の開催も大変である。
70代	女性	若い人が地域に残ってくれることだと思う。
70代	女性	自然が豊かで素晴らしい地域だといつも思っている。その中に、教養文化の香りが加わるとさらに素晴らしいの質が、高まるだろうと思っているのだが、今のところ具体的なものが見えてこない。
70代	女性	核家族でなく昔のような家族制度が必要に思う。
70代	男性	シルバー大学に入学できて多くの方と集い、講師の先生の話が聞けて感じたことを各地区でもミニ大学のようなものがあって体験できればと思った。
70代	女性	若い人たちが活発に…小さなことでも声かけ。
70代	女性	地域の方と男女年齢を問わず、意見を交換し、常に会話し合える関係をつくり、地域のために協力する心構えをもつことが大事と思う。
70代	女性	地震の時の避難の話が聞きたい。
70代	男性	年齢的にバランスが取れていればスムーズに展開していけると思う。若い人が少なくまとめにくい。
70代	女性	趣味などグループ活動の推進。
70代	女性	交通について便利さがとほしい。

## 2 その他のクロス集計結果

### (1) 地域活動から得たもの（年代別）

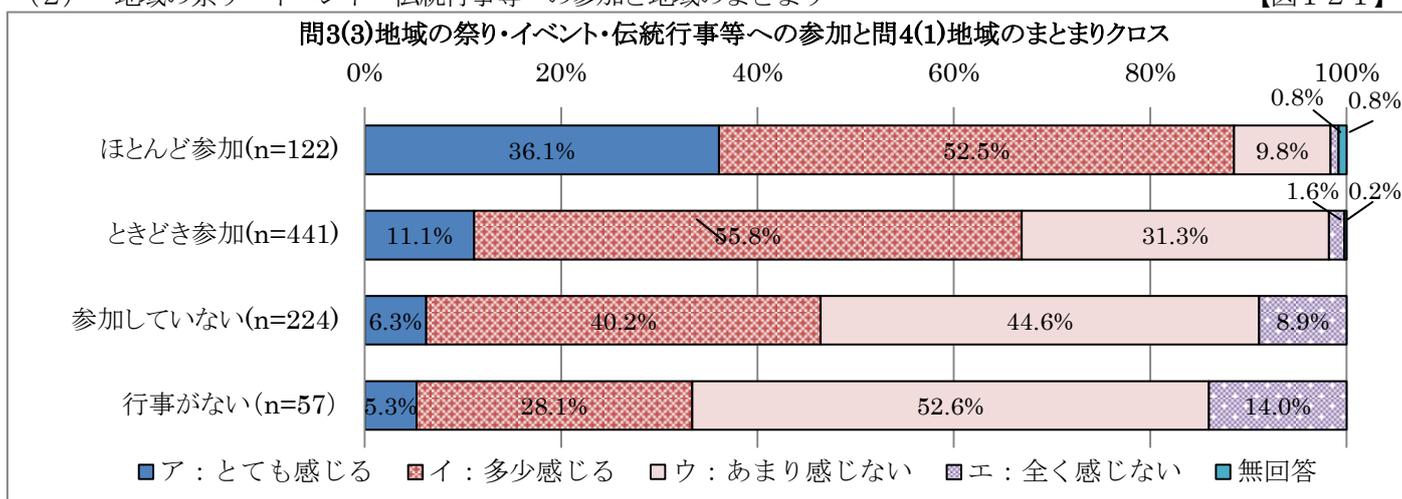
【表120】

問3(2)地域活動参加から得たもの（年代別）【MA】									
	ア：達成感・充実感	イ：知識やノウハウ	ウ：貢献	エ：仲間	オ：人とのつながり	カ：愛着	キ：しくみや問題	ク：成果の実感	ケ：その他
～29歳 (n=249)	28.5%	14.5%	12.9%	13.3%	23.3%	11.6%	4.8%	11.6%	1.2%
30～39歳 (n=104)	22.1%	11.5%	11.5%	26.0%	41.3%	14.4%	18.3%	13.5%	2.9%
40～49歳 (n=136)	25.0%	26.5%	25.0%	23.5%	50.0%	19.1%	16.2%	15.4%	1.5%
50～59歳 (n=68)	26.5%	20.6%	36.8%	29.4%	61.8%	17.6%	30.9%	22.1%	0.0%
60～69歳 (n=216)	27.3%	31.9%	24.5%	32.4%	43.5%	21.8%	19.0%	19.9%	0.0%
70歳～ (n=83)	34.9%	36.1%	22.9%	36.1%	57.8%	20.5%	20.5%	15.7%	1.2%
全体 (N=866)	27.4%	23.1%	20.3%	24.9%	41.1%	17.1%	15.4%	15.7%	1.0%

「問3(1)の地域活動に参加すること」から得られたものとして、各年代で「人とのつながり」と回答した割合が高い。

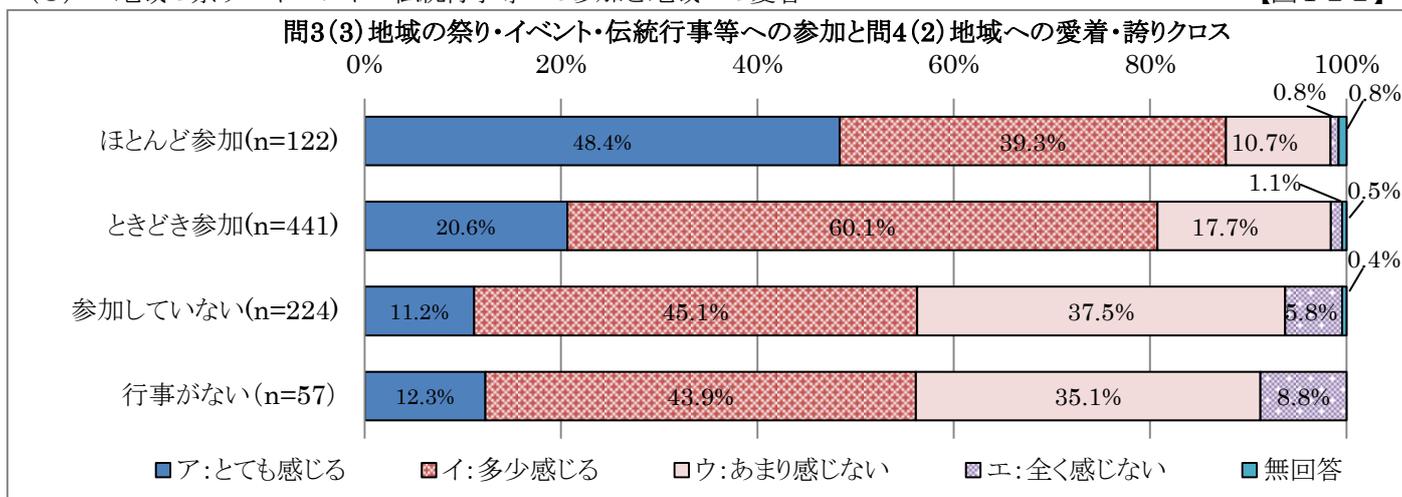
### (2) 地域の祭り・イベント・伝統行事等への参加と地域のまとまり

【図121】

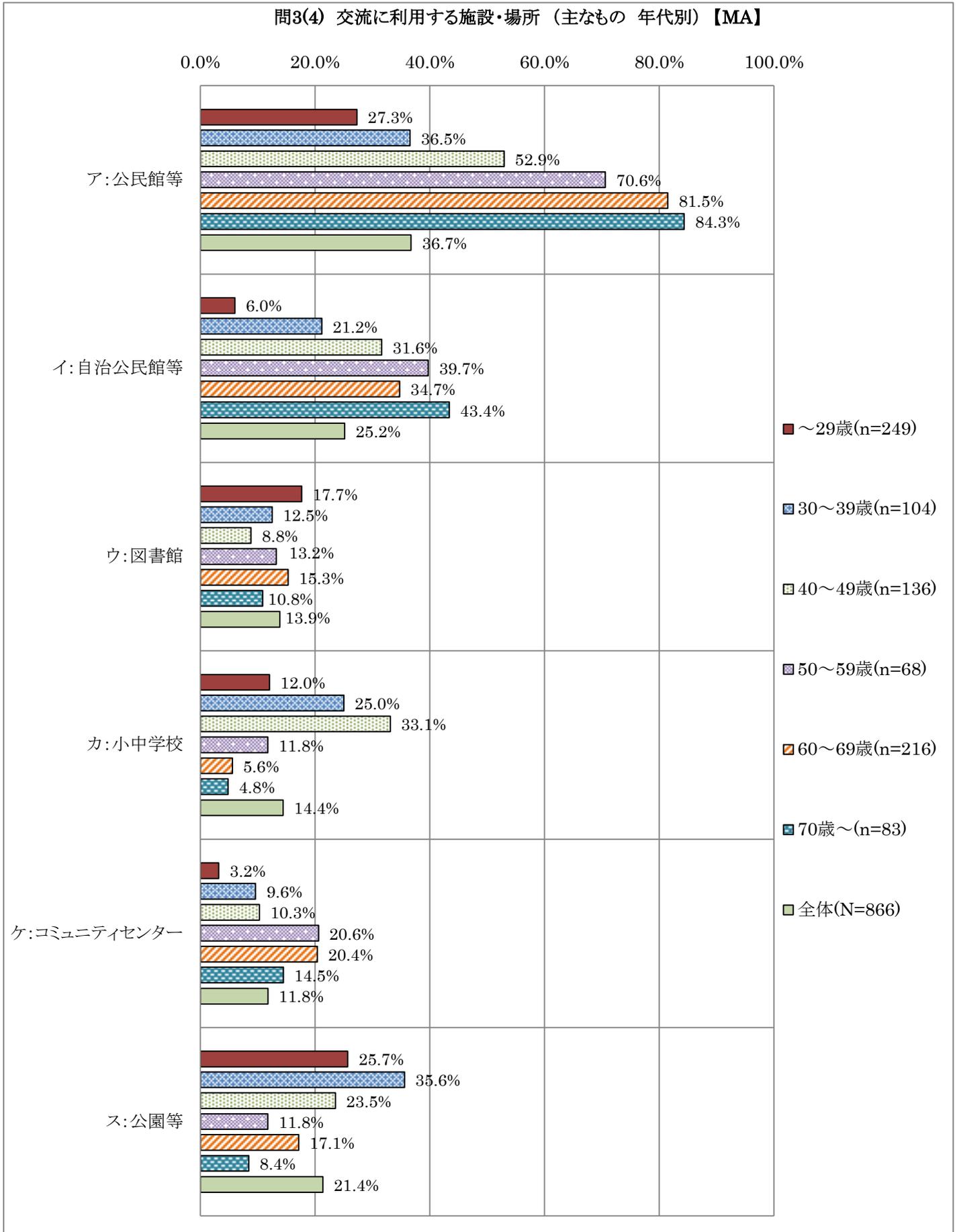


### (3) 地域の祭り・イベント・伝統行事等への参加と地域への愛着

【図122】



【図121】【図122】から、地域の祭り・イベント・伝統行事等に「ほとんど参加」していると回答した人は、地域のまとまりや地域への愛着・誇りを「とても感じる」と回答した割合も高いことが分かる。特に地域への愛着・誇りは48.4%が「とても感じる」と回答している。

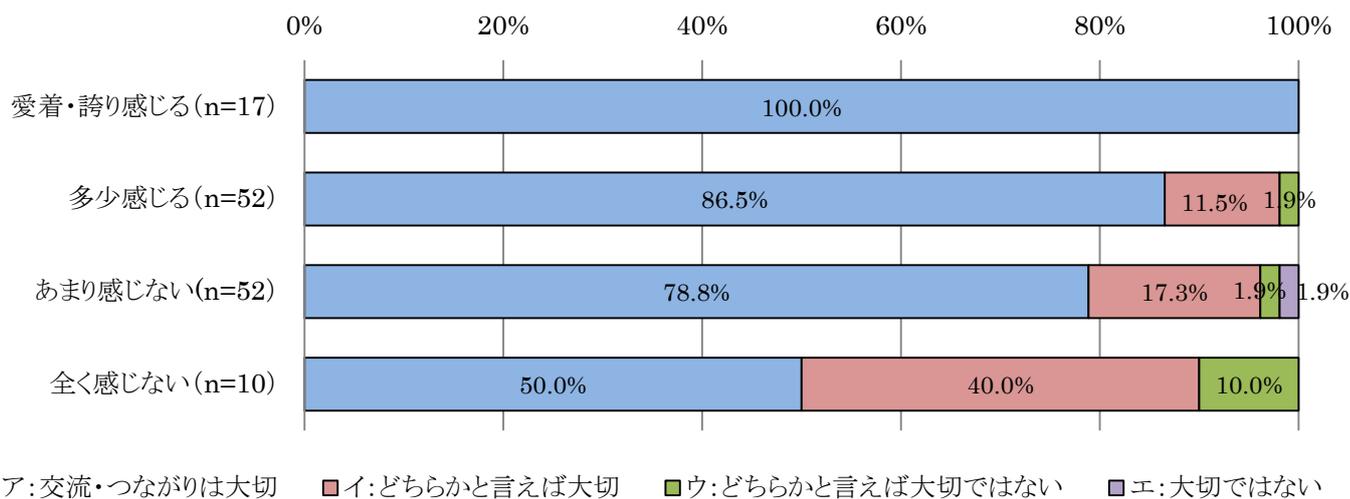


交流に使う場所として、各年代とも「公民館」は利用していると回答した割合が最も高い。また、年代が高くなるにつれて利用する割合も高くなる。50代以降は「公民館」に続いて「自治公民館」の利用率が高い。「小中学校」は40代の利用率が高い。「公園等」は、30代の利用率が高い。

(5) 地域への愛着・誇りと人との交流・つながりをもつこと (居住年数5年未満)

【図124】

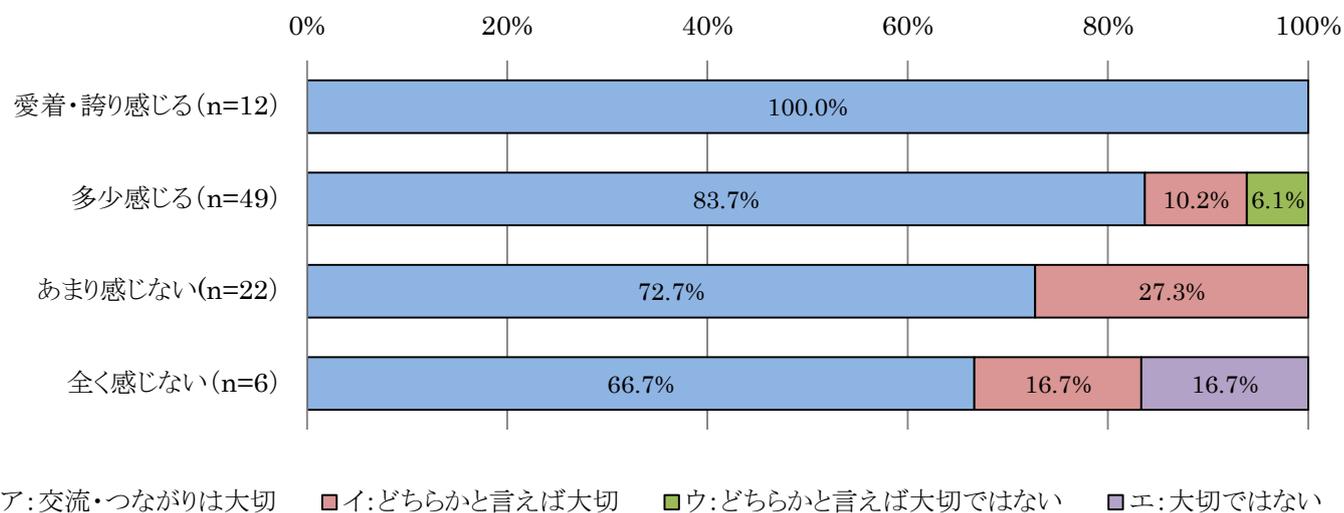
問4(2) 地域への誇り・愛着と問1(1) 人との交流・つながりをもつことクロス(居住年数5年未満)



(6) 地域への愛着・誇りと人との交流・つながりをもつこと (居住年数5~10年)

【図125】

問4(2) 地域への誇り・愛着と問1(1) 人との交流・つながりをもつことクロス(居住年数5~10年)



居住年数が5年未満、5~10年で、地域への「愛着・誇りをとても感じる」と回答した人の全員が、問1(1)「人と直接会って話をしたり、一緒に活動したりして、交流・つながりをもつこと」は「大切だと思う」と回答している。